

# サステナビリティ経営

## サステナビリティ方針・ビジョン

NXグループは、サステナブルな社会の実現と持続的な成長、企業価値の向上に向けて、これまで進めてきたサステナビリティ経営をより深化させ、実効性の高い施策をグループ一丸となって遂行するために、サステナビリティ方針およびビジョンを策定し、サステナビリティへの取り組みを進めています。

### ■サステナビリティ方針

■NXグループは、従業員、ビジネスパートナー、お客様、地域社会といったステークホルダーと共創し、実り豊かな未来を目指すことで、持続可能な社会の実現を目指していきます。

■NXグループは、自社とお客様の環境負荷の低減に貢献する事業に取り組むことで、カーボンニュートラル社会の実現や、地球環境の保全に貢献していきます。

■NXグループは、人と人、ビジネスとビジネスをグローバルに繋ぎ、社会課題の解決に寄与するソリューションを提供することで、社会から必要とされる存在として、持続的な成長を追求していきます。

### ■サステナビリティビジョン

#### 企業理念

私たちの使命 それは社会発展の原動力であること  
 私たちの挑戦 それは物流から新たな価値を創ること  
 私たちの誇り それは信頼される存在であること

#### サステナビリティビジョン

事業を通じて世界の人々のより良い暮らしと持続可能な社会の発展を支える

社会的価値  
【安心・安定の提供 / 働く人の幸せ】

環境的価値  
【地球環境の保全】

経済的価値  
【NXの持続的成長】

#### 重要課題 (マテリアリティ)

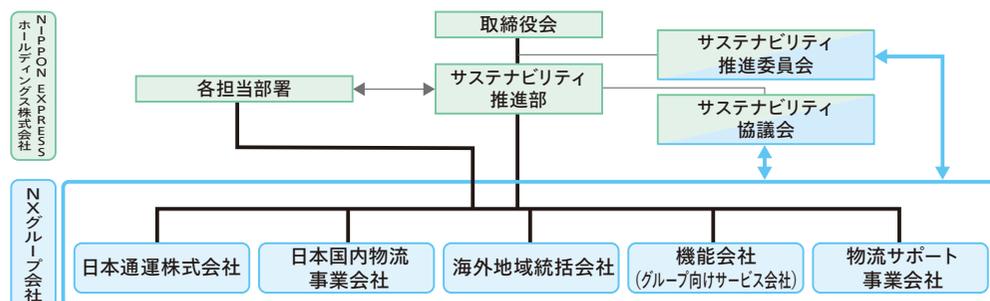
イノベーションによる新たな価値の創造

事業	サステナブル・ソリューションの開発・強化	グローバル・サプライチェーンの強靭化	気候変動への対応強化
事業基盤	イノベーションを生む人財力の向上		人権の尊重と責任ある企業活動の実現
安全・コンプライアンス・品質			

## サステナビリティ推進体制

NXグループは、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社にサステナビリティを推進するための専任部署としてサステナビリティ推進部を設置しています。また、当社グループ全体のサステナビリティ経営を推進するサステナビリティ推進委員会は、主要グループ会社の執行役員を委員として構成されています。同委員会では、気候変動問題などグループとして取り組むべきサステナビリティ全般にわたる課題を取り扱っています。

### NXグループのサステナビリティ推進体制



## 社内浸透の取り組み

NXグループは、サステナビリティ活動の推進にあたり、当社グループの従業員一人ひとりが日々の事業活動の中で自律的にサステナビリティを実践し、組織文化として定着することを目指し、サステナビリティ全般に係る理解浸透・行動変容を図るための教育・浸透を実施しています。

当社グループの全従業員向けeラーニングあるいは入社時のeラーニングにおいて、当社グループのグループ企業理念・サステナビリティビジョンなど、当社グループがサステナビリティ経営に取り組む意義・目的(Why)、サステナビリティ経営の戦略・マテリアリティ(What)、実際の取り組み事例とその創出価値(How)をストーリー形式で提供することで、全従業員における認知・理解向上および自身が取り組むべき事項であることの意識の醸成を図っています。

また、グループ全体への展開・浸透を図る上では、グループ各社の経営層あるいはサステナビリティ担当の理解・実践・牽引が重要となるため、こうした層に対しては、より重点的に研修を進めています。

 [サステナビリティ経営に関連する当社WEBサイト](#)

[サステナビリティ方針・ビジョン](#)



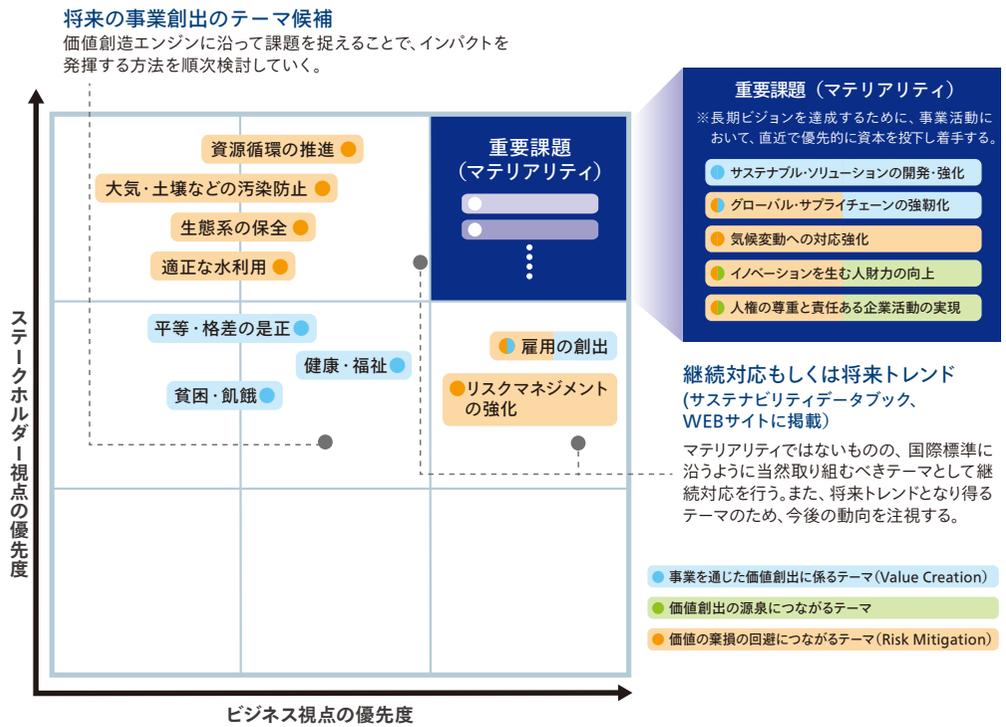
[サステナビリティ推進体制](#)



## 重要課題（マテリアリティ）の評価・見直し

グループ企業理念にのっとり、中長期の持続的成長・企業価値向上、社会価値創出を実現するために、2023年に重要課題（マテリアリティ）についての評価・見直しを実施しました。改めて「ステークホルダー視点の優先度」の観点と「ビジネス視点の優先度」の観点の2軸で評価を行うとともに、グループシナジーや経済的価値の創出、当社グループ全体で共通理解を持ち、さらなるサステナビリティ経営の浸透を図るための平易な表現への見直しを行い、5つの重要課題として整理しました。

※重要課題（マテリアリティ）の特定プロセスについては統合報告書をご覧ください。



## 主要なサステナビリティ課題

このサステナビリティデータブックでは、重要課題（マテリアリティ）評価で抽出された主要なサステナビリティ課題を含め、NXグループの取り組みを「環境的価値」、「社会的価値」、「経済的価値」という3つの価値および「ガバナンス」の観点から掲載しています。

	主要なサステナビリティ課題	サステナビリティデータブックの記載内容
環境的価値	(環境全般) ● 気候変動への対応強化 ● サステナブル・ソリューションの開発・強化 ● 資源循環の推進 ● 大気・土壌などの汚染防止 ● 生態系の保全 ● 適正な水利用	● 環境マネジメント ● 気候変動対策の強化を通じたCO <sub>2</sub> 排出量削減 ● 環境負荷の低い物流技術・サービスの提供 ● 気候変動への強靭性、適応能力の強化 ● 資源循環の推進 ● 陸域・海洋生態系の保全
社会的価値	● 人権の尊重と責任ある企業活動の実現 ● 平等・格差の是正 ● イノベーションを生む人財力の向上 ● 健康・福祉 ● グローバル・サプライチェーンの強靭化	● サプライチェーンにおける人権尊重の徹底 ● 労働衛生の確保 ● 労働安全・社会安全の徹底 ● 人財に関する考え方 ● グローバルで活躍できる人財の育成 ● ダイバーシティ & インクルージョンの推進 ● ワークスタイルの変革 ● お客様や社会からの期待に応えるグローバル品質の推進 ● 持続可能で強靭なインフラ開発への貢献
経済的価値	● サステナブル・ソリューションの開発・強化 ● グローバル・サプライチェーンの強靭化	● グローバル・パートナーシップの強化 ● 事業を通じた社会貢献
ガバナンス	● 人権の尊重と責任ある企業活動の実現 ● リスクマネジメントの強化	● 公正な事業慣行の推進 ● 腐敗防止の徹底 ● リスクマネジメント ● 個人情報の保護 ● コーポレートガバナンスの強化

## ステークホルダーエンゲージメント

NXグループは、サステナビリティ経営を通じて社会課題を解決することで豊かな未来を創出し、企業価値を向上していくためには、幅広いステークホルダーの皆さまと双方向のコミュニケーションを持つことが重要と考えています。

ステークホルダー	取り組み内容	主な対話方法(頻度・実績)
株主・投資家	経営方針や事業内容への理解を深めるための情報を積極的に開示するとともに、株主・投資家と経営層との面談を実施し、そこからの意見を取締役会へ報告するなど、対話の充実を図っています。	<p>【日本国内機関投資家向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機関投資家との個別ミーティング <ul style="list-style-type: none"> <li>代表取締役によるミーティング(1件)</li> <li>IR担当者によるミーティング(75件)</li> </ul> </li> <li>社長をスピーカーとするスモールミーティング(1回)</li> <li>社長およびテーマに応じた担当役員等をスピーカーとするIR Day(1回)</li> <li>IR担当者による証券アナリスト等の取材対応(39件)</li> </ul> <p>【海外機関投資家向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外投資家との面談 <ul style="list-style-type: none"> <li>代表取締役によるミーティング(8件)</li> <li>IR担当役員によるミーティング(5件)</li> <li>IR担当者によるミーティング(41件)</li> </ul> </li> <li>証券会社主催のコンファレンス参加(3件)</li> </ul> <p>【個人投資家向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明会(1回)</li> </ul>
お客様	法令等の順守に加え、お客様からのニーズを把握し、環境・社会に配慮した高品質なサービスの提供を行います。また、必要な情報の提供や相談受付などの相互コミュニケーションによる要望の収集によりサービス向上・改善に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示会・説明会・セミナー(随時)</li> <li>日本通運株式会社、「アジア・シームレス物流フォーラム2023」、「国際物流総合展2023 第3回 INNOVATION EXPO」に出展</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話、WEBでの相談受付(日常的)</li> <li>お客様アンケート(随時)等</li> </ul>
従業員	従業員が幸せにモチベーション高く働くことが、お客様、株主、社会に対する価値創出につながると考え、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進や人材育成など、多様な人材が能力を發揮し活躍できる環境の整備、施策の実行に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>タウンホールミーティング</li> <li>NXグループの方向性、ビジョン、経営トップの考え方を従業員一人ひとりに正確に伝えるために、経営トップと従業員が直接対話できる「タウンホールミーティング」を実施している</li> <li>社長、副社長をはじめ経営幹部が各職場に赴き、直接対面で会社の方向性を示し、従業員の考えを聴く機会を設けている</li> <li>2023年度はタウンホールミーティングを102回(日本通運株式会社社長による実施72回、副社長による実施30回)実施し、従業員1,499人がこれに参加している</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>内部通報制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>「NXスピークアップ」、</li> <li>「NXグローバルスピークアップ」</li> </ul> </li> <li>個人面談(随時)</li> <li>社内アンケート(随時)</li> <li>コンプライアンス意識調査(定期的)</li> <li>社内報(月1回)等</li> <li>NXエンゲージメントサーベイ(年1回)</li> <li>社内公募制度(ボスカリ)の実施(年120ポスト以上)</li> </ul>
関係・協力会社	関係・協力会社と共に公正・公平な取引を行い、法令等の順守に加え、安全・人権・環境等の課題に対しサプライチェーン全体で対処します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議・説明会(随時)等</li> <li>物流現場の自動化・省力化・効率化を目指して、各種展示会への参加・ベンダーからの情報収集を実施。得られた情報・知見を社内共有し、物流現場の効率化につなげている</li> <li>医薬品メーカー、医薬品卸および関係団体を医薬品センターに誘致し見学会を実施</li> <li>パートナーシップ安全協議会(年1回)</li> </ul>
地域社会	NXグループが地域社会に対して与える影響を理解し、事業活動・社会貢献活動を通じて、地域の持続的な発展・振興に寄与します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演・教育の場への講師派遣(随時)</li> <li>社会貢献活動(随時)等</li> </ul>
行政機関	各国の行政機関や自治体等の各種法令の順守に加え、行政機関や自治体等と連携した事業の検討・推進により産業振興に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会・協議会・会議(随時)等</li> <li>経済産業省主催のGXリーグ(カーボンニュートラルへの移行に向けた挑戦を果敢に行い、国際ビジネスで勝てる企業群がGXを牽引する枠組み)に参画</li> </ul>